

議題提案書

1 基本情報

議題種別	協議事項
議題名	N 連の昨年度の振り返り及び今年度の見通しと対策について
提案者の氏名	今西浩明
提案者の所属	NGO 側連携推進委員会
提案者の役職	連携推進委員

2 議題提案の背景

ここ数年、N 連予算については、新規申請案件数に対して予算不足が生じ、昨年度については継続案件の翌年度への先送りを通じて新規案件の予算枠を確保する、新規案件はすべて単年度案件とするなどの特別な対応がとられる一方、民連室のご尽力により、単年度の贈与契約締結額としては過去最高額となった。

しかしながら、NGO 側の N 連に対する要望に対して、通常予算での N 連予算が十分でないのは明らかであり、昨年度の対応を踏まえて、今年度の対応を検討する必要がある

3 議題の論点（連携推進委員会で議論したい点）

今回、議論したいのは以下の 3 点である。

（1）昨年度の N 連の振り返り

外務省としての昨年度の N 連の状況や対応について総括し、その対応などがどうであったか、そこから何を学び今年の N 連の運営に生かすことができるのかについてお考えをお聞かせいただき、NGO 側とも意見交換をしたい。

（2）今年度の N 連の見通しについて

今年度の N 連の実施に関して、まず現時点での贈与契約締結の進捗状況についてご報告いただきたい。その上で、今年度の予算不足に対応する施策（継続案件の次年度先送り、新規申請枠の金額別予算枠の設定など）及び、それに伴う新規および継続枠のそれぞれ現時点での予算額の見通しについて共有いただきたい。また、申請された案件の審査基準や必要とされる申請書の内容について共有いただくとともに、スムーズな案件審査、採択、契約に至る方策について、NGO 側から協力できることも含めて、意見交換、議論を行いたい。

（3）慢性的な N 連予算不足軽減に向けた方策について

今年度の予算において無償資金協力の予算自体が減少している中、N 連の予算増加を望むのは非常に厳しいものがあることは理解するが、少しでもその可能性を広げるために、外務省、NGO 双方として何をすべきなのか、どのような協力ができるのかについて率直な意見交換をしたい。

4 出席を希望する外務省部局または担当者

外務省 民間援助連携室 岩上室長、
N 連予算を所管する部署（無償資金協力の担当課、政策課など）

以上